

# ASK ニュース

Vol.0225

2016年11月1日(火)

担当：MS事業部 三宮

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## これからの時代に必要な 「六つの感性」

### はじめに

以前、ASKニュースでも取り上げましたが、ハーバード大学の研究にもあるように100種類の職業が、今後コンピュータやAIに完全に取って代わる時代になると言われています。

反復性があり、再現性があるような仕事は、完全にAIにとって代わるか、東南アジアやインドなどにアウトソーシングされる時代になるでしょう。

このような時代で生き残る為に、アメリカの作家ダニエル・ピンクは「六つの感性」が必要だと述べています。

それでは、この「六つの感性」とはなんなのか少しご説明しましょう。

### 「六つの感性（センス）」

ダニエル・ピンクは、コンピュータやAIに代替できないクリエイティブな仕事は、右脳主導の仕事と言っています。このようなクリエイティブな思考を備える為に、六つの感性が必要だと言っています。

この「六つの感性」とは、以下の6つです。

#### ①機能だけでなく「デザイン」

今の時代、機能が優れているだけではなく、外観が美しく、感情に訴えかけてくるものでなけれ

ばならない。

#### ②議論よりは「物語」

相手を納得させるには、効果的な議論の対決だけでは不十分で、より良いイメージを想像させる物語が必要である。

#### ③個別よりも「全体の調和」

何かに焦点を絞ったり、特化することが重視されている時代から、バラバラなものをまとめる能力が重要な時代となっている。分析力ではなくバラバラな物をつなぎ合わせて印象的で新しい価値観を提供できる統括力が必要である。

#### ④論理ではなく「共感」

論理的思考は重要だが、それだけでは立ち行かない。何が人を動かしているかを理解し、良い人間関係を築き、他人を思いやる能力が必要である。

#### ⑤まじめだけでなく「遊び心」

仕事も人生も遊びが必要である。特にユーモアは必要不可欠である。

#### ⑥モノよりも「生きがい」

私たちは、物質的に豊かな世界に住んでいる。それによって、ただ生きるという苦悩から解放され、より有意義な生きがい、精神の充足を追い求める時代となっている。

### おわりに

このピンクの考えは、現在成功している企業が備えている感性（センス）です。大前研一氏もこの21世紀にまともな給料をもらって良い生活をしようと思った時に、この感性が必要であると述べていることが興味深い点です。